

# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

## 【本文省略】

問一「そのあし」とは、何を指していますか。次の1から4までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 いすのあし
- 2 ひきの馬のあし
- 3 ぼくのあし
- 4 ベッドのあし

3

○3行目「あとあしがいつぼんしびれていたの」・5行目「力をいれようとしても、さつぱりはいりません。」に注目しましょう。  
○5行目と問題の「そのあし」は、ぼくの、しびれているいつぼんのあとあしのことを指しています。

問二 ともだちの馬に自分のあしをけられて、どんなことがわかったのですか。次の1から3までの中から一つ選び、その番号を書きましょう。**レベル4・5**

- 1 自分の足はぬすまれたのではなく、しびれていたのだということ。
- 2 自分のあしをぬすんだのは、ともだちだったということ。
- 3 自分のあしはぬすまれたのではなく、いすのあしと入れかわっていたということ。

1

「そして、やっとのことで、じぶんのあしはぬすまれたのではなく、しびれていたのだとわかりました。」の文に着目して考えましょう。



# 復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
<b>模範解答</b>		

## 【情報を読み取る問題】

- 1 次の文章を読んで、問題に答えましょう。

とうとう、ぼうし屋がみつかりました。お母さんが道々よく教えてくれた、黒い大きなシルクハットのぼうしのかん板が、青い電灯にてらされてかかっていました。子ぎつねは、教えられたとおり、トントンと戸をたたきました。

「こんばんは。」

すると、中では何かコトコト音がしていました。やがて、戸が一すんほどゴロリと開いて、光のおびが、道の白い雪の上に長くのびました。

子ぎつねは、その光がまばゆかったので、面くらって、まちがったほうの手を、——お母さんが、出しちゃいけないと言ってよく聞かせたほうの手を、すき間からさしこんでしまいました。

「このおててにちょうどいい手ぶくろ、ください。」

すると、ぼうし屋さんは、おやおやと思いました。きつねの手です。きつねの手が、手ぶくろをくれと言うのです。これはきつと、木の葉で買いに来たんだなと思いました。

（出典 新美南吉「てぶくろを買いに」）

問 「まちがったほうの手」とは、何の手ですか。文章中から、五文字で書きぬきましよう。

う。 **レベル5・6**

き	つ	ね	の	手
---	---	---	---	---

「まちがったほうの手」が他の言い方で書かれている言葉を探します。「五文字で書きぬきましよう」という指示があるので、「きつねの手」が答えとなります。

